

各 位

上場会社名 静甲株式会社
 代表者 取締役社長 鈴木恵子
 (コード番号 6286)
 問合せ先責任者 取締役 中村元保
 (TEL 054-366-1106)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 10 月 28 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成 21 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A)	24,200	270	330	225
今回発表予想 (B)	23,000	20	70	100
増減額 (B-A)	△1,200	△250	△260	△125
増減率 (%)	△5.0%	△92.6%	△78.8%	△55.6%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	25,859	405	470	212

平成 21 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A)	10,200	100	200	220
今回発表予想 (B)	10,100	△40	60	140
増減額 (B-A)	△100	△140	△140	△80
増減率 (%)	△1.0%	—	△70.0%	△36.4%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	11,918	149	253	151

修正の理由

冷間鍛造事業では、納入先メーカーの生産調整により、自動車部品の分野で受注が急速に落ち込み、売上高が減少しております。また車両関係事業では、景気後退にともない国内の自動車販売が落ち込むなか、連結子会社の静岡スバル自動車株式会社においても、整備部門を除いて、車両販売の各部門が軒並み売上高を落としております。以上により、連結売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

また、利益面では、売上高減少による減益に加え、冷間鍛造事業において受注減少にともなう工場の稼働率低下のため大きな減益となる見込みです。また、産業機械事業において、一部の案件の原価が当初見積もりに比べて上昇したことで利益を圧迫することや、棚卸資産の評価に関する会計基準の適用により仕掛品評価損を計上する見通しとなったこともあり、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益につきましても、前回予想を下回る見込みとなりましたが、法人税等及び少数株主利益の影響により乖離幅は減少しております。

以上